

統計人材の育成について

資料 4

「統計行政の新生に向けて」（令和元年12月24日統計改革推進会議統計行政新生部会）

- ・専門性を有する人材の確保・育成についても提言

「公的統計の整備に関する基本的な計画」（令和2年6月2日閣議決定）

・統計作成のみならず政策立案の支援も行うことができる統計業務資格保有者として、「**統計データアナリスト**」（一定の統計業務経験を積んだ統計職員で、統計に関する高度な能力を有する者）及び「**統計データアナリスト補**」（統計調査の管理や一定の分析、審査能力を有する者）の**確保・育成等を図る**。

（別表 今後5年間に講ずる具体的施策）

・所管する基幹統計及び一般統計調査の数や規模等を勘案して、**必要となる統計データアナリスト及び統計データアナリスト補の育成目標数を定め、計画的に確保・育成する**。また、原則として、基幹統計調査及び一般統計調査の調査設計は統計データアナリストの管理の下で行い、調査実施は統計データアナリスト補以上の管理の下で行う。
（担当府省：各府省）

・**統計データアナリスト等育成課程の研修を新設**するほか、初任の幹部・管理職向けの研修を実施する。（以下略）（担当府省：総務省）



- 「**統計データアナリスト等の認定の基本的な考え方**」（R3.2.12統計行政推進会議申合せ）、**「統計データアナリスト等の認定基準**」（R3.2.18総務省政策統括官決定）及び**「統計データアナリスト等認定実施規程**」（R3.6.29総務省政策統括官決定）を決定
- 統計研究研修所において、統計の知識を体系的・段階的に習得する「**業務レベル別研修**」を実施（令和3年度から「**統計データアナリスト研修**」及び「**統計データアナリスト補研修**」を新設）

統計データアナリスト・アナリスト補について

統計データアナリスト・アナリスト補は、実務経験要件及び研修要件を満たす者の中から、各府省の統計幹事の推薦を受け、総務省政策統括官（統計制度担当）が認定

①実務経験要件

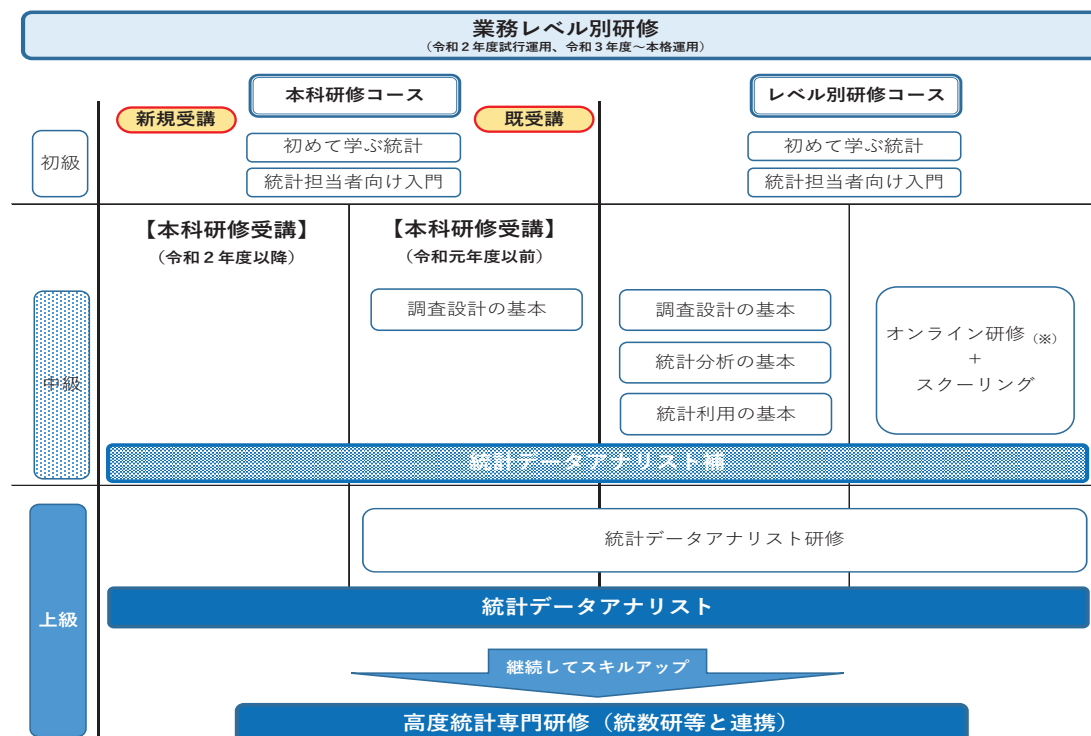
右表に示す年数 又は 回数の実務経験を有する職員 など

	年数	回数※
統計データアナリスト補	5年	2回
統計データアナリスト	10年	5回

※「企画－実査－審査・集計－公表」の一連の実務を通算で経験した回数

②研修要件

- ・ 総務省統計研究研修所が実施する業務レベル別研修（初級、中級、上級）を受講
- ・ 中級で統計データアナリスト補、上級で統計データアナリストの研修要件を満たす
- ・ 初級研修の受講後に本科（総合課程）を受講すると、統計データアナリスト補及び統計データアナリストの研修要件を満たす



※ オンライン研修は令和3年度後半からの開講を予定。

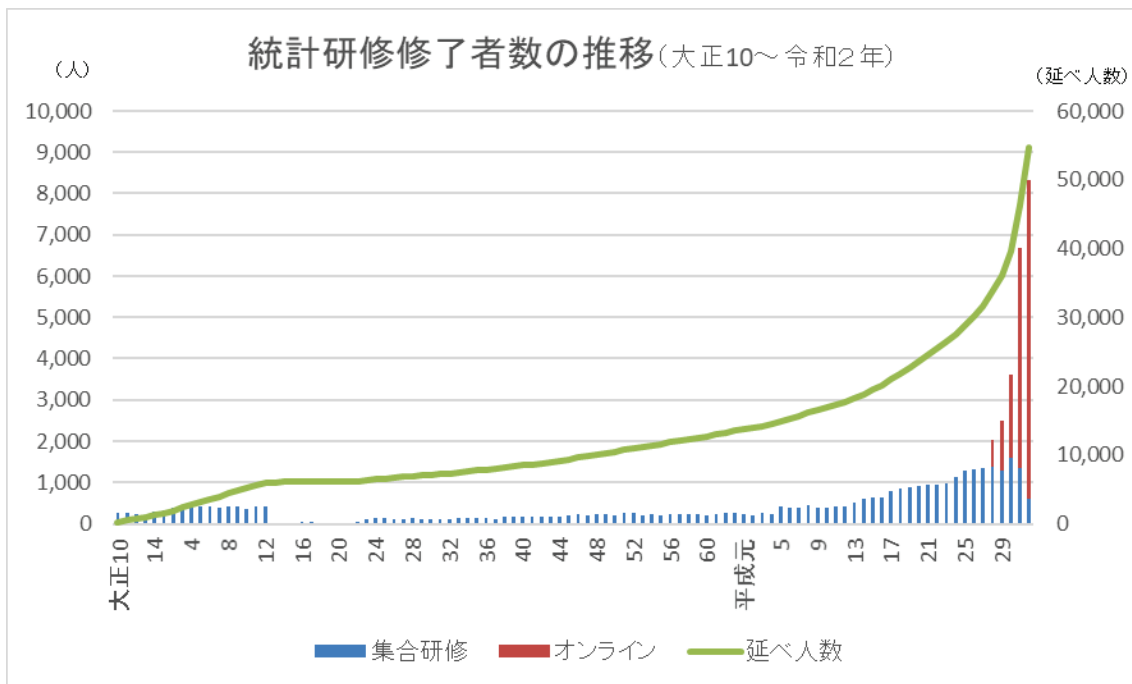
統計研究研修所の業務レベル別研修（令和3年度）

	研修名	対象者・レベル	内容
【初級】 統計取扱業務 担当向け研修	初めて学ぶ統計【オンライン研修】 年4回（4、7、10、1の各月下旬から 4週間）開講	統計初任者等、 新規採用職員、 政策部局の職員	○統計の初歩を習得
	統計担当者向け入門 【ライブ配信研修】 5月に開講（2.5日間） 【オンライン研修】 年4回（4、7、10、1の各月下旬から6週 間）開講		○統計調査の企画設計・実施等の実務的な基 礎知識を習得 ○統計分析手法やグラフの書き方等について習得 ○集合研修では演習も実施 ※従来の「統計実務者向け入門」と「統計利用者向け 入門」を統合して実施
【中級】 統計データアナリ スト補研修	調査設計の基本(4日間) 統計分析の基本(5日間) 統計利用の基本(3日間) 【ライブ配信研修】 年2回（5、7の各月下旬から）開講 【オンライン研修】 冬以降に開講予定	統計実務担当者	○調査の企画・設計の理論と実務知識、統計分 析手法の基本知識及び主要統計指標の見方や 人口・経済統計の活用方法を習得
【上級】 統計データアナリ スト研修	統計データアナリスト研修【ライブ配信研修】 年2回（9、3の各月5日間）開講	統計実務担当者	データチェックや品質管理など、統計データアナリスト として必要な知識を習得

統計研修の修了者数について

令和3年3月

統計研究研修所は、大正10年の開設から100年。
この間の累計の研修修了者数は、延べ54,698人。



《ポイント》

- ・平成17年以降、ゆるやかに増加。
- ・平成24年以降、毎年1,000人を超える。
- ・平成28年以降、オンライン研修を導入、飛躍的に増加。
- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響※から集合研修修了者は減少したものの、オンライン研修の大幅な増により受講者数は引き続き増加

※ 研修の中止、定員の削減など

令和3年度統計研修のご案内

統計研修へのお誘い

総務省統計研究研修所は、統計に関する我が国唯一の専門研修機関であり、国・地方公共団体等の職員に対し、統計リテラシーの向上などを目的として様々な統計研修を実施しています。

最近では様々な分野で「ビッグデータ」、「データサイエンス」、「統計学」などが取り上げられ、また、学校教育の現場では、本格的な統計教育に向けた準備が始まるなど、データを分析し活用する分野への国民の関心が高まっています。

そのような状況の中、私たちが関わる行政分野の施策の立案や評価において、統計調査、行政記録等を通じて各種データを正確に把握すること、そして統計の知識を活用したデータ分析に基づいて意思決定すること、これらがますます重要となってきます。

令和3年度からは、これまで集合研修で実施していた入門研修である「統計担当者向け入門」をオンラインでも開講するほか、要望の多い研修を中心に集合研修の映像配信を実施し、どこからでも集合研修と同様の内容を受講できる取組を進めてまいります。

公務の世界で統計を的確に活用していくことの重要性は、ますます高まっていくと思います。統計人材の育成のためにも、私ども統計研究研修所をご活用ください。

令和3年3月

総務省統計研究研修所長 平池 栄一

研修体系

業務レベル別研修 ～統計の知識を体系的・段階的に習得～

全ての公務員が学ぶコース	全ての公務員に向けた研修 <ul style="list-style-type: none">●公務員として最低限知っておくべき統計に関する知識を習得する課程●【オンライン研修】初めて学ぶ統計(ダイジェスト版) ※ポータルサイト「統計研修ひろば」から、申込不要でいつでも受講が可能です。
統計に携わる職員が学ぶコース(初級)	統計取扱業務担当職員向け研修 <ul style="list-style-type: none">●統計の作成・分析や政策立案に統計を活用する職員に向けた課程●【オンライン研修】初めて学ぶ統計●【オンライン研修】統計担当者向け入門●統計担当者向け入門
統計実務を担当する職員が学ぶコース(中級)	統計実務職員(統計データアナリスト補)研修 <ul style="list-style-type: none">●統計実務を行う上で基本的な統計の知識・手法が習得できる課程●統計利用の基本●調査設計の基本●統計分析の基本 ※オンライン研修も準備ができ次第開講する予定です。
統計実務を総合的に学ぶコース(上級)	統計データアナリスト研修 <ul style="list-style-type: none">●統計的思考力やデータ分析力を習得できる課程●統計データアナリストに必要な知識を習得できる課程 ●本科(総合課程) ●統計データアナリスト研修
統計幹部コース	管理者向けコース <ul style="list-style-type: none">●統計行政の管理職として知っておくべき知識を習得できる課程●都道府県新任管理者セミナー(都道府県の統計主管課長向け)●統計幹部講座(統計に携わる国家公務員幹部向け)

分野別研修 ～特定の分野に関する知識を習得～

- 政策立案・評価・データ活用コース(7講座(うちオンライン3講座))
- 地域分析コース(2講座)
- 統計作成実務コース(6講座(うちオンライン2講座))
- 人口統計コース(2講座)
- 経済統計コース(1講座)
- マイクロデータコース(2講座)
- 都道府県職員・教育関係者向けコース(4講座)

※令和3年度は、「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催に伴い、一部の研修の時期を見直します。

令和3年度統計研修のトピックス

利便性向上のために ～研修を受講しやすい環境を整えます～

オンライン研修版「統計担当者向け入門」を開講

- これまで初めて統計業務に携わる職員などを対象として実施していた「統計担当者向け入門」について、同様の内容をオンライン研修として実施します。
- 「JSTAT MAP」の操作解説や表計算ソフトを用いたデータ分析やグラフの作成など、講義内に演習も組み込んでいます。
※オンライン研修のほか、集合研修も従来どおり実施します。

「データサイエンス・オンライン講座」が統計研究研修所でも受講可能に

- 総務省統計局が提供している「データサイエンス・オンライン講座」(3講座)が統計研究研修所でも受講できるようになりました。
- 総務省統計局では、各講座年1回の開講となっていますが、統計研究研修所では年4回開講しますので、従来よりもより受講しやすくなります。

集合研修のライブ配信を実施

- 令和3年度から、要望の多い研修を中心に集合研修の様子を映像配信(ライブ・オンデマンド)します。これにより、職場や自宅でも専門的な研修が受講できるほか、受講定員の拡充も図ります。
 - ・ ブラウザのみで閲覧可能とし、アプリケーションのインストールは不要です。
 - ・ 教材は事前にダウンロードすることが可能です。
 - ・ 講師との双方向性を確保するため、研修中に講師に質問することが可能です。※ライブ配信する研修は、4～5ページをご参照ください。
- また、一部の研修で試行的に和歌山県和歌山市にある「統計データ活用センター」(総務省統計局・独立行政法人統計センター)をリモート会場とした研修の実施を予定しています。

開講時期や研修期間の見直し

～受講者や実務担当者のご意見を踏まえ～

統計作成実務コース

- 「統計作成実務コース」である「国民・県民経済計算」及び「産業連関表の作成・分析」は、都道府県実務担当者からの研修時期早期化のご要望を踏まえ、第1四半期(6月)に実施します。
- 「指数に関する研修」は、鉱工業指数に特化する形で研修を実施し、研修期間の短縮を図ります。
- また、例年多くの方に受講いただいている「国民・県民経済計算」及び「産業連関表の作成・分析」については、ライブ配信も併せて実施します。データ分析やグラフの作成など、講義内に演習も組み込んでいます。
※オンライン研修のほか、集合研修も従来どおり実施します。

「統計分析の基本」

- 受講者の皆様から、講義時間が「短い」というアンケートを多数頂いていることを踏まえ、研修期間を4日から5日に延長します。

研修内容の変更

～プログラムの改編も実施～

「調査設計の基本」

- 高い品質の統計を安定的に提供するため、適切な統計作成プロセスの標準化を推進するための内容を中心とした研修を実施します。

「社会調査」(新規開講)

- 従来の「調査設計の基本」から、「意識調査」と「標本調査法」の概要をコンパクトにまとめた講座です。
- アンケート調査を企画する方等にお勧めの講座です。

「データサイエンスセミナー」(滋賀大学で実施)

- 従来から提供していた「オープンデータを用いたデータ分析方法の体験的学習」に代わり、新たにAI、機械学習に関するセミナーを実施する予定です。